

令和6年度 第1回

病院経営戦略会議報告

日時 令和6年4月9日（火） 13時00分～13時28分
場所 3階講堂会議室1・2
出席者 小山院長、朝見副院長、池田副院長、金子副院長、原看護部長、西田保健衛生局理事、堀越病院経営部長、坂口病院総務課長、三上病院施設管理課長、富田病院財務課長、増田医事課長、小林情報管理室長、田中患者支援センター副所長
事務局 病院総務課 天本

内 容

◎坂口病院総務課長

【協議事項】

（病院の「基本方針」について）

・病院の「基本方針」について、「見直しの要否」についてお諮りするもの。

→変更を行わなくても問題はないのか。（小山院長）

→中期経営計画の方向性も基本方針に沿って作っている。何かを達成していれば計画を見直して、基本計画も新たなものを策定するということもあるかと思うが、ここに掲げている5つの方針はまだこれから取り組まなければいけないことだと思っている。（病院財務課長）

→本件については、現在のとおりにすることに決定する。（小山院長）

◎三上病院施設管理課長

【報告事項】

（平面駐車場、バスの停車位置について）

- ・平面駐車場入口と出口にあるカメラにより車を感知するセンサーの試験を4月3日から5日の3日間で実施して無事に終わった。満車・空車等の表示も含めて平面駐車場が4月末あたりですべて完成する見込みとなった。
- ・バスの停車位置の変更については、なるべく前倒しできるよう調整しているが、今のところ5月の連休明けになる見込みであり、分かり次第報告する。

◎増田医事課長

【協議事項】

(さいたま市立病院管理規則の改正（体外衝撃波疼痛治療料の新設）について)

- ・体外衝撃波疼痛治療とは、音波の一種である衝撃波を皮膚の上から患部に照射することで、痛みを感じるとる神経を変性させたり、新生血管の再生を促すことで慢性的な痛みを軽減する治療であり、理学療法、整形外科、スポーツ医学、リハビリテーションなどで幅広く使われており、スポーツ医学総合センターでは、令和6年度に「体外衝撃波疼痛治療装置」を導入する予定としている。
- ・当治療は、足部、膝、肘、肩、骨折など多くの疾患に適応でき、低侵襲で安全であることから、スポーツ医学総合センターだけでなく、整形外科を含めた幅広い患者に対する疼痛治療が可能となる。また、同機器を導入している医療機関がまだ少ないため、基幹病院である当院が治療を開始し、地域の診療所等からの紹介患者についても受け入れることで、地域医療連携と収益確保の観点から大きなメリットがあると考えられる。
- ・当治療は、多くの疾患に適応されるが、保険診療の対象となるのは、保存療法を6カ月以上続けても効果がみられない難治性の足底腱膜炎のみとなっており、適応外の疾患への治療に対応するために、自費診療時の価格を設定するものである。
- ・料金設定について、保険診療と同等とすると、一連の治療で50,000円＋税と高額となることから治療を受けられる患者が限られ、幅広く患者を受け入れることができなくなることが予想される。そのため、当院での料金設定については、同じ治療を実施している医療機関の設定料金を参考とし、収益を確保しつつ、民業圧迫にならないよう設定した。
- ・通常は、一連の治療につき体外衝撃波の照射を2～3回実施する。そのため、他医療機関で2回及び3回の照射を行った場合のそれぞれの料金を比較した結果、1回あたりの料金が10,000円となる設定の医療機関が多かった。
- ・初回と2回目以降の料金設定を変えている医療機関があるため、当センター医師に確認したところ、初回は、問診、適応の有無、部位の決定などを行うが、料金を変えるほどの差はないとのことだったため、当院の設定料金を「1回10,000円」とする。
- ・会議に先立ち本庁の財政課と協議を行ったが、財政課からは「特段の意見なし」との回答を得ている。

→他施設と足並みをそろえてという部分と、2回目以降を下げないという部分の違いがあるということか。(小山院長)

→1回目と2回目以降の金額差をつけている医療機関もあるが、2回実施した場

合、3回実施した場合で比較して大体同額となるよう料金設定した。(医事課長)

→本件については、この金額で決定する。(小山院長)

◎小林情報管理室長

【報告事項】

(救急部門システムの稼働について)

- ・4月1日より救急部門システムが稼働した。稼働当初の問題に関しては、システム開発ベンダーが常駐して対応している。

◎小山院長

- ・働き方改革がすでに始まっているが、1、2か月過ぎると感じが変わるのではないか。
- ・現在、7月の機能評価に向け準備を行っている。
- ・病院の収支が前年度はかなり厳しかったので、改善していくことを考えなければならないと思うのでよろしく願いしたい。

◎池田副院長

- ・病院施設管理課の報告で4月に工事があるとのことだったが、資産計上はいつになるか。

→資産計上は当月となる。(病院財務課長)

◎原看護部長

- ・緩和ケア病棟を今年度中には開きたいと考えている。